

「強豪相手に真っ向勝負」

# 明德序盤に4点

## 土佐塾悔しい5回逸機

▽2回戦  
土佐塾  
00000000011  
2200000000X4

明德義塾  
▽二塁打 七俵、真田▽犠打  
土塾2(広瀬、森岡) 明德  
3(真田、高村、藤本) 逸機

飛 土塾0、明德1(古川)  
▽失策 土塾2(北村、三  
福) 明德2(神藤2) 逸機殺  
土塾0、明德1(飛田) 古  
賀(古川) 逸機暴投 佐田▽捕  
逸 森岡▽試合時間 1時間  
57分 審判 普光江、池沢、  
山崎志、吉本

【評】序盤のリードを  
守った明德が、粘る土佐  
塾を振り切った。

明德は一回、古川の左  
犠飛などで2点先制。二  
回1死満塁も古川の2点  
適時打で加点した。しか  
し、その後は満塁をつく  
るなどしたが、無得点。  
試合を決め切れなかった  
のは反省材料。投手は3  
投手の継投。計9安打を  
浴びたが、要所は変化球

で締めた。  
土佐塾は2番手田淵が  
5回を無四球無失点と  
力投し、食い下がった。  
打線は五回無死満塁を生  
かせなかったのが惜しま  
れる。  
(井上真一)

### 土佐塾 善戦にも力の差

「制球のいい三福が四  
回ぐらゐまで試合をつく  
ってくれば…」  
土佐塾・白壁監督が描  
いたプランは、一、二回  
の4失点で崩れ去った。  
さらに三回も1死満塁と  
され、大敗の気配さえ漂  
い始めた。  
ここでマウンドに上が  
ったのがエース田淵。1  
本打たれると大勢が決す  
るピンチだったが、130キ  
台半ばの直球で三振、右  
飛と打者をねじ伏せる。  
この逆境を切り抜けた後  
も、明德打線に3安打し  
か許さなかった。  
「ああいう場面で抑え  
るのがエースなので」と  
クールに話したものの、  
善戦とはいえず、力が及  
ばなかったのも事実だ。  
「打線は序盤にきつちり  
点を取るし、投手はここ  
ぞという時に変化球で三  
振を取ってきた。やっぱ  
り明德はすごい」と主将  
広瀬。今大会で念願の  
「夏1勝」を挙げた土佐  
塾。敗戦から得た経験を  
引き継ぎ、来年は「強豪  
校からの1勝を目指す」  
(井上真一)

球	振	点	安	打	手	回	残
1	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0
12	2	1	1	2	2	2	1
13	2	1	1	2	2	2	1
14	2	1	1	2	2	2	1
15	2	1	1	2	2	2	1
16	2	1	1	2	2	2	1
17	2	1	1	2	2	2	1
18	2	1	1	2	2	2	1
19	2	1	1	2	2	2	1
20	2	1	1	2	2	2	1
21	2	1	1	2	2	2	1
22	2	1	1	2	2	2	1
23	2	1	1	2	2	2	1
24	2	1	1	2	2	2	1
25	2	1	1	2	2	2	1
26	2	1	1	2	2	2	1
27	2	1	1	2	2	2	1
28	2	1	1	2	2	2	1
29	2	1	1	2	2	2	1
30	2	1	1	2	2	2	1
31	2	1	1	2	2	2	1
32	2	1	1	2	2	2	1
33	2	1	1	2	2	2	1
34	2	1	1	2	2	2	1
35	2	1	1	2	2	2	1
36	2	1	1	2	2	2	1
37	2	1	1	2	2	2	1
38	2	1	1	2	2	2	1
39	2	1	1	2	2	2	1
40	2	1	1	2	2	2	1
41	2	1	1	2	2	2	1
42	2	1	1	2	2	2	1
43	2	1	1	2	2	2	1
44	2	1	1	2	2	2	1
45	2	1	1	2	2	2	1
46	2	1	1	2	2	2	1
47	2	1	1	2	2	2	1
48	2	1	1	2	2	2	1
49	2	1	1	2	2	2	1
50	2	1	1	2	2	2	1